

『OEM生産、お受けします!』

さんべ食品工業株式会社

昭和7年、ラムネなどの清涼飲料水の製造販売を開始、戦後からはコンニャクも手掛け、彼岸市の10円ジュースでもおなじみの食品製造メーカー。近年は、地元農産物のジャムや炭酸飲料を製造すると共に、※OEM（受託製造）も積極的に展開しています。お伺いした大田駅通りのひなびた店構えの奥には、甘い香りと製造現場の活気があふれていました。

―炭酸飲料の製造メーカーは少ない?―

炭酸飲料をつめる機械があるのは、山陰では、当社だけ。10円ジュースと同様、古い機械を直しながら使ってきました。

昔は、クリームソーダ、リング牛乳なども製造し、大田高校にも専用の自動販売機がありました。しかし、大手メーカーの自動販売機が普及し、当社はラムネだけに。3年前に眠っていた機械を整備し、サイダーを始めました。



自社ブランドのサイダーは、梅・紫蘇・柚子の3種類。いずれも無香料無着色で地元農産物を使用

―柚子サイダーはANA機内販売で大好評だったとか

益田市美都町特産の柚子を使ったサイダーを受託製造しました。美都町の道の駅で販売開始の後、ANA

で販売されることに。昨年8月の終わりから本格的に製造を始め、美都町での波及効果も含め、機内販売期間の3ヶ月で約3万本が売れたようです。

そちらが落ち着いた今は、地元三瓶産わさびのサイダーを試作中。加熱すると、香りがなくなるなど課題がありますが、乞うご期待。
―ジャム製造にも力を入れておられますね

ジャム事業のスタートは、OEM。県内はもとより関東でも多くの取引があります。少量でも試作しますので、声をかけてください。

自社ブランドは、「家庭でお母さんが子供たちにつくるような気持ちでつくろう。」という思いで『スイート



食用蓄薇を生産する(株)大田緑地(長久町)とのコラボレーション商品
蓄薇シロップとジャムは、

ママ』と名づけました。ブルーベリー、梅、甘夏、イチゴ、さつまいの5種類が基本。売れ筋は、さつまい。ネット販売は、テレビで紹介されたおかげで、蓄薇ジャムの注文が増えました。



地元のさつまいと蜂蜜でつくった、芋みっ煮。芋コンフィチュール(ジャム)と共に大田ブランド認証商品

―いもづるネットワークのお世話もしておられますね

芋代官こと「井戸平左衛門」にちなみ、さつまいを大田を代表するブランドに育てようという取り組みです。加工販売業者を中心に組織していますが、農家の方とも連携しながら、もっと広めたいです。

『芋代官』の商標は登録済みですが、商品は焼酎、羊羹などにとどまっておらず、市内で、もっと幅広い商品の開発が期待されます。

当社も、従来のジャムなどに加えて、さつまいを使ったコロツケと芋麴を使った商品が完成し、これから売り出していきます。これからも、地域の特産品を使った、様々な商品づくりに挑戦していきます。



社長の勝部邦彦さんとスイートママこと妻の佐和子さん。笑顔の素敵なお二人から、温かみのある商品が生まれる

さんべ食品工業株式会社

大田市大田町大田1403-5
TEL 0854-82-0863
FAX 0854-82-6686

さんべ食品工業 検索

※OEM：発注元企業のブランドで販売される製品を製造すること。また、そのようなメーカー